

放課後児童クラブ 内部評価結果（施設所管課による評価）

【評価対象施設】放課後児童クラブ

【指定管理者名】社会福祉法人 大東市社会福祉協議会

【評価対象年度】令和 5 年度

【施設所管課名】教育総務部 家庭・地域教育課

業務内容について評価

令和 5 年度は、指定管理者として 4 期目の初年度を迎え、これまで培ってこられたノウハウや豊富な経験を最大限に発揮されて業務運営を行っていただきました。

放課後児童クラブの運営におきましては、入所や通所する児童の保護者に対して、放課後児童クラブの通所時における内容（利用時間・利用料・災害時・緊急時の対応など）を一冊の冊子にまとめた「放課後児童クラブのしおり」を新たに作成し、通所している児童の保護者のみならず、各小学校にも配布されました。また、法令改正に対応した安全計画を策定されるとともに、大雨等の災害や緊急時における支援員等による緊急連絡の情報共有体制を構築されたことは、安全・安心をより意識した運営体制によるものであり、大変評価します。

また、通所している児童の健全育成の取組みとして、企業による出前講座や、市内で活動されている団体による朗読会、地域包括センター職員による認知サポーター会議、地域の老人会とのふれあい交流会などを実施され、児童の豊かな感性や知識の醸成につながるとともに、放課後児童クラブが地域の一員であるといった認識になり、郷土愛の醸成につながるものと考えております。令和 6 年度も、創意工夫のある取組を行うことを期待しております。

さらに、保護者ニーズや声を活かした運営として、夏季限定入所における先着順による受付方法の変更についての要望に対して、令和 6 年度より公開抽選への変更することを見据えて、早急に体制を構築し準備を行うとともに、長期休業期間における児童が登校する時間帯における校門が開放されていることによる安全性の懸念に対する対応として、児童の登校時における警備体制を構築する等、保護者からのニーズ・声に即した対応をされていることは大変評価します。

今後も家庭・地域教育課や各小学校と連携し、放課後児童クラブに入所している児童が安全に安心して過ごすことができるように配慮した運営を期待します。

利用者満足度について評価

利用者の苦情が直接、教育委員会に寄せられることもほとんどなく、指定管理者への聴き取りにおいても、各放課後児童クラブに対してのクレーム等が年間を通して数件と非常に少ないことから、保護者との情報共有や関係性は良好であると評価しております。また、各イベント後の保護者の声や連絡帳といった、現場の意見等を真摯に受け止めて対応されており、結果として保護者の信頼や安心感につながっているものと評価します。

収支状況について評価

各教室（実施の単位）において、節電・節水への意識を支援員だけでなく児童にも高めることで、光熱水費等の削減に努めています。児童が安全かつ健やかに学べる環境づくりについて、適宜、施設修繕等が行われており、安全な環境整備がなされていました。軽微な修繕については事務局職員が行い、修繕経費の適正な執行を心がけておられることは評価できます。また、利用料の徴収については、大東市放課後児童クラブ利用料滞納対策実施要領に基づき、適切に取り扱いを行い、利用料の未納についての催告についても文書のみならず電話でも実施することにより、収納率 99%以上を保ち続けていることは大いに評価できます。今後も適切な収納事務を実施することを期待します。

総合評価

今年度には安全計画の策定を行い、子どもの安全・安心な居場所として運営する意識を再確認したほか、教室では児童一人ひとりを的確に把握し、子どもの自主性、社会性、創造性を向上させ、基本的な生活習慣の確立等を図ることができるように運営が行われており、放課後児童クラブの目的に沿った対応をされていることは評価できます。

保護者の就労増加等に伴い、入所児童の登録が多くなってきている教室もありますが、利用実態に応じて柔軟・適切に対応していただきました。

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの流行による急遽の学級閉鎖等にも、学校や教育委員会と情報共有しつつ、感染対策を講じながら適宜対応いただき評価できます。

次年度以降、管理システムの導入などにより、適切な保護者対応を企図しておられ、引き続き利用児童および保護者の利用しやすい放課後児童クラブの運営を行っていただくことはもとより、各教室の実情に即した中・長期的な視点に立った、効率的かつ効果的な事業運営を期待します。